

# 國際法外交雜誌第三十四卷

自第十一號 至第十號 總目錄

## 論 說

英米學派と大陸學派……………	法學博士 立 作 太 郎	一	一頁
共同安全保障組織に就て……………	細 野 軍 治	一	二七
日本同盟協商制度論(八・九・十・十一・十二・十三・十四・十五)……………	法學博士 鹿 島 守 之 助	三	一五
國際法上アングロ・サクソン派と大陸派との意見の差異……………	京 城 帝 大 教 授 泉 哲	二	九九
侵略の定義に關する條約(三)……………	九 州 帝 大 教 授 大 澤 章	三	一一二
パレスティン委任統治(一・二・三)……………	東 北 帝 大 教 授 田 岡 良 一	三	一九一
國際約定の一形式たる交換公文の研究……………	法 學 士 一 又 正 雄	三	二一九

目 次

國際聯盟脫退の要件及效果(一・二)	法學博士 松原 一雄	四二九
最近國際法學海に投ぜられたる一石の波紋	法學博士 立 作 太郎	四二〇
パナマ運河地帯の行政經營	東京帝大教授 山 政 道	三九一
常設國際司法裁判所と國際私法問題	東京帝大教授 江 川 英 文	四八七
門戶開放、機會均等、商業自由	法學博士 立 作 太郎	五六七
日本とオランダの裁判調停條約(一・二・三)	東京帝大教授 横 田 喜 三 郎	八六五
安全保障に於ける條約の二重の意義(一・二)	九州帝大教授 大 澤 章	六六五

資料

世界恐慌以來の世界通商條約及通商協定(一)	神戸商大教授 生 島 廣 治 郎	一四七
承認に關する國際法典案の批判(一・二)	東京帝大助教授 安 井 郁	一四七
外國に於ける條約の締結、署名及び批准の手續(一・二・三)	法學士 一 又 正 雄	一四七

國際判例

當設國際司法裁判所判例研究……………東京帝大教授 横 田 喜 三 郎

一〇	東部グリーンランドの法律的地位に關する事件	一七〇
一一	東南部グリーンランドの法律的地位に關する事件	一七五
一二	カルテロリゾ島とアナトリア海岸の間の領海の境界に關する事件	二七八
一三	プレス公財産管理に關する事件	二七九
一四	ハンガリアリチエコスロヴァキア混合仲裁裁判所の判決に關する事件	二八五
一五	ポーランドの農業改良とドイツ系少數者に關する事件	二八六
一六	ハンガリアリチエコスロヴァキア混合仲裁裁判所の判決に關する事件(ベテル・バズマニ大學の事件)	三三四
一七	フランススリギリシアの燈臺に關する事件	四七二
一八	オスカー・チンに關する事件	五四三
一九	アルバニアの少數者學校に關する事件	六二九
二〇	常設仲裁裁判所判例研究	七
	東京帝大教授 横田喜三郎	
一	カリフォルニア布教基金に關する事件	八
二	ヴェネズエラ債務優先權事件	九五〇
三	日本の家屋稅事件	九五二

## 紹介

雜誌	Dr. Th. Baty	五六六
Revue de Droit International, 1934		五六六

American Journal of International Law	
1934.....	六五六二
1935, Number 1 (January).....	八七六五
1935, Number 2 (April).....	八七六二
Revue Générale de Droit International Public, 1934.....	七六六四
新 刊 雜	
Sir John Fischer Williams, Some Aspects of the Covenant of the League of Nations, 1934(英譯).....	一九一
Rudolf Blühdorn, Einführung in das angewandte Völkerrecht, 1934(德譯).....	九二
Davis, The Soviets at Geneva, 1934(英譯).....	一八四
Berdahl, The Policy of the United States with respect to the League of Nations, 1932(德譯).....	一八六
World Court Reports, A Collection of the Judgments, Orders and Opinions of the Permanent Court of International Justice, vol. I, 1922—1926, ed. by M. O. Hudson, 1934(英譯).....	一八八
Georges Scelle, Précis de Droit des Gens(Principes et Systematique), Deuxième Partie, 1934(法譯).....	三八七
Lauterpacht, The Development of International Law by the Permanent Court of International Justice, 1934(英譯).....	三八八
Hertz, Das Problem des völkerrechtlichen Angriffs, 1935(德譯).....	四八一
Hartley, Documentary Textbook on International Relations, 1934(英譯).....	四八五
Clyde, Japan's Pacific Mandate, 1935(英譯).....	六四六
Carlton Savage, Policy of the United States Toward Maritime Commerce in War, 1934(英譯).....	六四六

Kelsen, The Legal Process and International Order, 1935(横田).....	七
Cooper, R. M., American Consultation in World Affairs for the Preservation of Peace, 1933(横田).....	九
World Court Reports, vol. II, 1927—1932, ed. by M. O. Hudson, 1935(横田).....	九
Kunz, Kriegsrecht und Neutralitätsrecht, 1935(松岡).....	十
Möller, International Law in Peace and War, Part II, 1935(松原).....	十

=====  
雜 報  
=====

國際法學會第二回研究會及秋季總會記事.....	一
安達博士の逝去.....	一
安達博士を悼む.....	三
安達博士を悼む.....	三
安達博士の逝去に對する國際聯盟の哀悼.....	三
長岡博士歸朝歡迎會記事.....	三
國際法學會春季總會記事.....	五
國際法學會秋季總會記事.....	五
講演 神川彦松教授『エチオピアを繞る國際闘争』.....	九

=====  
附 錄  
=====

日本國和蘭國間司法的解決、仲裁裁判及調停條約.....	六
-----------------------------	---